

## 別紙

## I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	北斗市保健推進事業	北 斗 市	4,500,000	4,500,000	総事業費6,433,700円

## II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	地域活性化措置	北斗市保健推進事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		北斗市		
交付金事業実施場所		北斗市中央1丁目3番10号		
交付金事業の概要		地域住民の健康増進を図るため、電源立地地域対策交付金を活用して、北斗市保健推進事業に携わる保健師を確保し実施体制を維持します。(保健師3名分の人件費 6月～12月)		
総事業費		6,433,700	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	4,500,000 4,500,000
交付金事業の成果目標		北斗市保健推進事業に携わる保健師3名分の人件費に交付金を活用することにより、体制を維持し、急速に進む高齢化と核家族化のなかで子ども、障がい者、高齢者など幅広い人たちを対象に、心身の健康を守る専門家として、住民の生活に密着しながら保健衛生面を支える活動を行い、地域住民の福祉の向上を促進します。		
交付金事業の成果指標		地域住民の福祉の向上を促進するためには、保健師が必要不可欠であることから、事業に携わる民生部保健福祉課に勤務する3名の保健師の体制維持を図ります。		
交付金事業の成果及び評価		3名の保健師の体制を維持したことにより、子ども、障がい者、高齢者など幅広い人たちを対象に、生活と密着しながら保健衛生面を支える活動を行い、地域住民の健康増進が図られました。 今後とも、保健師の体制維持を図り、地域住民の福祉の向上を促進します。 【検診数:15種類、検診受診者:2,107人】		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法		契約の相手方
保健師の人件費		雇用		保健師3名分
				契約金額 6,433,700
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
無				
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		平成33年度		

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条に規定する同法の目的の趣旨を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、第三者機関等の名称及び構成員等を記載すること。